

# NEWS LETTER

---

2021年6月28日  
一般財団法人岩手経済研究所

## 2021年夏季 岩手県内ボーナス調査について

一般財団法人岩手経済研究所（理事長：高橋真裕）は、定例の「2021年夏季岩手県内ボーナス調査」を実施しました。

本調査の概要は以下のとおりです。

### 2021年夏季ボーナスの増減予想

「増加」	15.7%	（前年調査比	0.9ポイント増）
「前年並み」	58.6%	（	1.1ポイント減）
「減少」	22.7%	（	4.6ポイント増）
「支給なし」	3.0%	（	4.4ポイント減）

（注）1. 2年連続で支給がない回答者を除く構成比

2. 「増加」は新卒者など前年の支給がなかった場合を含む

3. 「支給なし」は前年に支給があったが、今年の実支給がない場合を指す

本調査の内容は別紙「2021年夏季岩手県内ボーナス調査」のとおりです。また、詳しくは6月30日発行の当研究所機関誌「岩手経済研究 2021年7月号（No.464）」にも掲載いたします。



2021年6月28日

## 2021年夏季岩手県内ボーナス調査

盛岡市中ノ橋通一丁目2番16号  
岩手銀行中ノ橋支店3階  
一般財団法人 岩手経済研究所  
理事長 高橋 真裕  
(担当 地域経済調査部 阿部 瑛子)  
TEL 019-622-1212

## < 調査要領 >

### 1. 調査内容

県内の給与所得者における 2021 年夏季ボーナスの支給見通しや使途など

### 2. 調査時期

2021 年 5 月

### 3. 調査対象者

県内の給与所得者

### 4. 調査方法

直接配布、郵送回答

### 5. 回答者数

212 人（配布部数 695 部 回収率 30.5%）

### 6. 回答者属性

		回答者数	構成比	平均年齢
		人	%	歳
全 体		212	100.0	43.0
性 別	男 性	107	50.5	44.1
	女 性	105	49.5	41.9
職 業 別	民間(会社員)	160	75.5	41.9
	公 務 員	52	24.5	46.4
独 身・ 既 婚 別	独 身	60	28.3	36.2
	既 婚	152	71.7	45.7
年 齢 階 級 別	30 歳 未 満	34	16.0	-
	30 歳 台	42	19.8	-
	40 歳 台	67	31.6	-
	50 歳 台	57	26.9	-
	60 歳 以 上	12	5.7	-

## ＜ 調査結果の要約 ＞

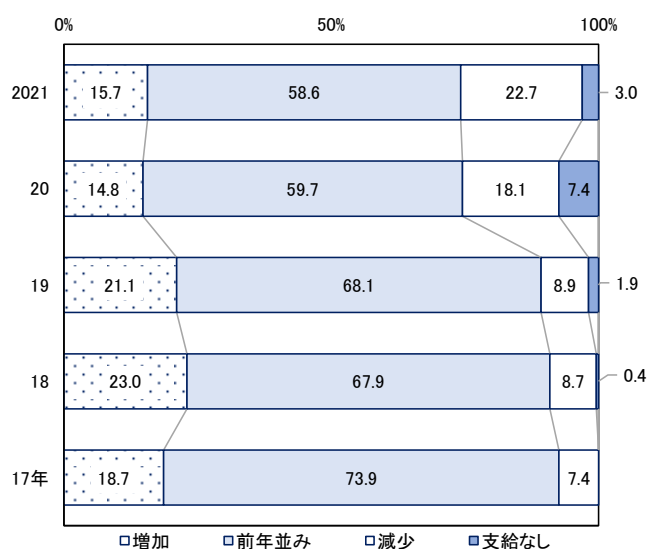
### 1. 夏季ボーナスアンケート調査

#### (1) 夏季ボーナスの受取予想 — 厳しい見通しが続く —

2021年夏季ボーナスの受取予想は「前年並み」の支給があるとする回答が58.6%（前年調査比1.1ポイント（以下、p）減）で最も多く、次いで「減少」が22.7%（同4.6p増）、「増加」が15.7%（同0.9p増）、「支給なし（※前年は支給あり）」が3.0%（同4.4p減）となった（図表1）。

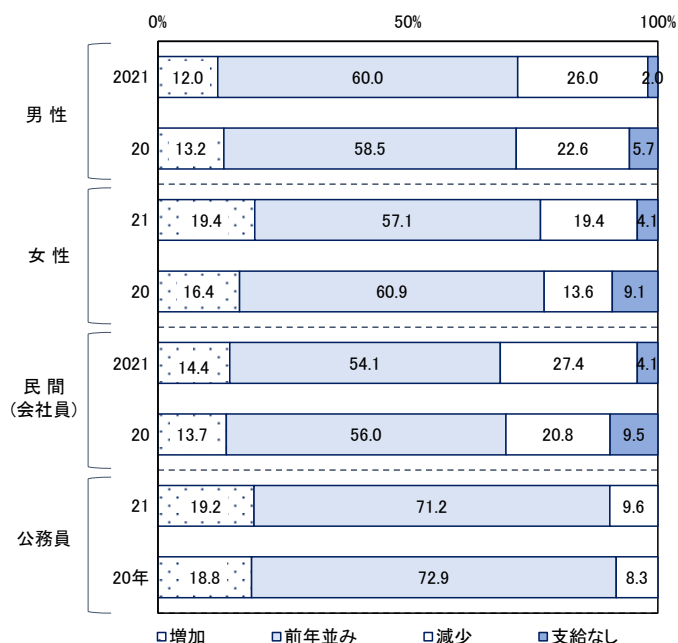
「支給なし」が減少し、「前年並み」は過去5年間で最も少なかった一方、「減少」が最も高い割合となるなど、新型コロナウイルス（以下、新型コロナ）の感染拡大による景気後退などを反映して引き続き厳しい見通しとなっている。

図表1 夏季ボーナスの増減予想（全体、2017～21年）



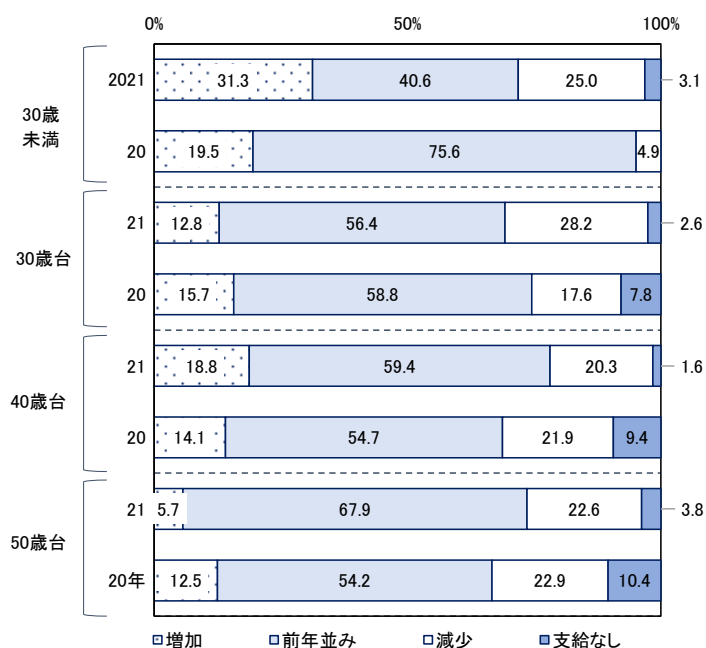
- (注) 1. 2年連続で支給がない回答者を除く構成比  
 2. 「増加」は新卒者など前年の支給がなかった場合を含む

参考 1 夏季ボーナスの増減予想（性別・職業別、2020、21年）



- (注) 1. 2年連続で支給がない回答者を除く構成比  
 2. 「増加」は新卒者など前年の支給がなかった場合を含む

参考 2 夏季ボーナスの増減予想（年齢階級別、2020、21年）



- (注) 1. 2年連続で支給がない回答者を除く構成比  
 2. 「増加」は新卒者など前年の支給がなかった場合を含む  
 3. 60歳以上は回答者が少ないため省略する  
 4. 四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある

## (2) 使途 — レジャー、外食などに慎重な姿勢 —

ボーナス支給があると予想した回答者（民間、公務員）にその使途を「消費」「返済」「貯蓄・投資」に金額ベースで分配してもらった。

これによると全体では「貯蓄・投資」が47.5%（前年調査比1.7p増）で最も多く、次いで「消費」が34.0%（同1.3p増）、「返済」が18.5%（同3.0p減）となった（図表2）。

「消費」では、「買い物」はわずかながら上昇した一方、「レジャー」と「交際費」は1%台に低下した。「レジャー」は独身の下げ幅が大きかったほか、「交際費」は性別、独身・既婚別のすべての層で前年を下回り、県内においても調査期間の5月は新型コロナウイルスの感染が拡大傾向にあったため、旅行や外食などを控える動きにつながったものとみられる。

図表2 夏季ボーナスの使途

単位：%、p

	全体			性別				独身・既婚別			
	前年比	※参考		男性		女性		独身		既婚	
		(20年冬季)	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比			
<b>消費</b> ↗	<b>34.0</b>	<b>1.3</b>	<b>(35.9)</b>	<b>36.2</b>	<b>4.5</b>	<b>30.4</b>	<b>△ 3.7</b>	<b>30.9</b>	<b>△ 7.9</b>	<b>34.9</b>	<b>4.2</b>
買い物	12.4	0.3	(13.3)	12.3	0.9	12.7	△ 0.3	12.9	△ 5.1	12.3	2.2
レジャー	1.9	△ 0.3	(2.7)	2.2	0.1	1.5	△ 1.0	3.2	△ 2.3	1.5	0.3
交際費	1.7	△ 1.0	(3.1)	2.2	△ 0.9	0.9	△ 1.3	3.6	△ 0.1	1.1	△ 1.3
教育費	10.2	2.2	(7.5)	11.8	4.0	7.7	△ 0.5	1.0	△ 4.0	13.0	4.1
その他	7.7	0.0	(9.4)	7.8	0.5	7.6	△ 0.7	10.1	3.4	7.0	△ 1.1
<b>返済</b> ↘	<b>18.5</b>	<b>△ 3.0</b>	<b>(19.4)</b>	<b>18.7</b>	<b>△ 7.8</b>	<b>18.3</b>	<b>3.8</b>	<b>18.3</b>	<b>2.7</b>	<b>18.6</b>	<b>△ 4.8</b>
住宅	8.5	0.3	(8.2)	11.5	△ 0.7	3.7	1.1	1.7	1.7	10.6	△ 0.3
自動車	3.1	△ 1.3	(3.1)	2.9	△ 2.3	3.5	0.3	5.2	1.2	2.5	△ 2.0
教育	0.5	0.0	(1.5)	0.2	△ 0.6	1.0	0.9	1.0	1.0	0.4	△ 0.3
クレジット	4.1	△ 0.8	(3.8)	2.6	△ 2.0	6.6	1.3	8.2	2.3	2.9	△ 1.7
その他	2.3	△ 1.2	(2.8)	1.6	△ 2.2	3.3	0.1	2.3	△ 3.4	2.2	△ 0.6
<b>貯蓄・投資</b> ↗	<b>47.5</b>	<b>1.7</b>	<b>(44.7)</b>	<b>45.1</b>	<b>3.3</b>	<b>51.3</b>	<b>△ 0.1</b>	<b>50.8</b>	<b>5.1</b>	<b>46.5</b>	<b>0.7</b>

(注) 1. 回答者の支給予想額の合計を100%とした構成比  
2. 四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある

## 2. 夏季ボーナスアンケート支給額推計 —支給総額はマイナス予想—

当研究所では県の「毎月勤労統計調査」などの各種統計を基に2021年夏季ボーナス支給総額の推計を行った。

推計の結果、民間（会社員）と公務員を合わせた支給総額は1,121億7,800万円で前年比5.3%減の見通しとなった（図表3、4）。

民間は同7.5%減となった。雇用者数は微減にとどまったものの、新型コロナの影響で支給率の低下が見通されることから、全体では支給額の落ち込みが予想される。

一方、公務員は同0.3%増と、支給率（月数）が国家公務員は前年実績を下回ったものの、県職員が据え置きとなったほか、県職員の支給対象者が増加したことなどから全体では微増を予想する。

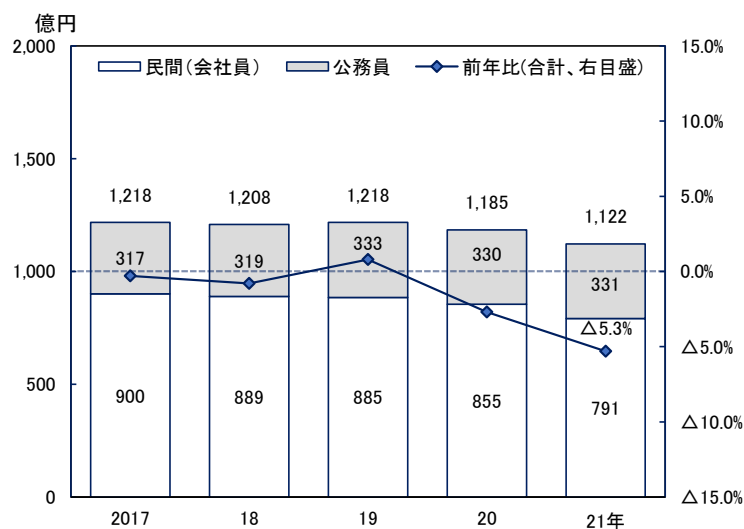
図表3 夏季ボーナス支給総額の推計結果

単位：百万円、%

	合 計		
	民間 (会社員)	公務員	
2021	112,178	79,112	33,066
前年比	△ 5.3	△ 7.5	0.3
20	118,483	85,513	32,970
前年比	△ 2.7	△ 3.4	△ 0.9
19	121,789	88,512	33,277
前年比	0.8	△ 0.5	4.5

（注）経年分は推計に用いる指標の更新等に伴い再計算した

図表4 夏季ボーナス推計支給総額の推移（2017～21年）



（注）経年分は推計に用いる指標の更新等に伴い再計算した